

消化器外科 I に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和4年3月10日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題名】 高度進行肝細胞癌に対する治療戦略の検討

【研究機関名・長の氏名】 北海道大学病院 病院長 渥美 達也

【研究責任者名・所属】 北海道大学病院 消化器外科 I 柿坂 達彦（講師）

【研究の目的】 肝細胞癌の治療は手術、ラジオ波焼灼術、血管塞栓術、放射線治療、化学療法と多岐にわたり、それらの治療を組み合わせることで治療後の予後が改善してきている疾患です。本研究では、多発例、あるいは高度脈管侵襲や他臓器転移を伴うような高度進行肝細胞癌に対する当科の手術治療成績を検討し、高度進行肝細胞癌に対する今後の治療戦略を検討することを目的とします。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

北海道大学病院消化器外科I(旧第一外科)に入院し、2000年1月1日から2022年12月31日の間で肝細胞癌に対して肝切除術を受けた方

●利用するカルテ情報

以下について、2023年12月31日までのカルテ情報を収集します。

- ① 患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、身体状況（performance status）。
- ② 治療情報：術前・術後補助療法の有無、内容。
- ③ 手術情報：手術名、全身状態（ASA grade）、手術時間、出血量、周術期輸血の有無、術後在院日数、術後合併症。
- ④ 血液検査結果：ヘモグロビン、白血球数、白血球分画、血小板数、プロトロンビン時間、総ビリルビン、総タンパク、アルブミン、AST、ALT、クレアチニン、ICG 負荷試験、腫瘍マーカー。
- ⑤ 画像検査所見：CT（3-D構築画像を含む）、MRI、^{99m}Tc-GSAシンチグラフィ、超音波検査、レントゲン写真、PET-CT。

- ⑥ 病理検査所見：大きさ、個数、脈管侵襲、周囲臓器浸潤、多臓器転移、stage。
- ⑦ 予後情報：生存期間、無再発生存期間、初回再発部位。

[研究実施期間] 実施許可日～2026年3月31日

[個人情報の取り扱い]

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院 消化器外科 I 担当医師 柿坂 達彦

電話 011-706-5927 FAX 011-717-7515